参考

第3回 “創甲斐”市民ワークショップ
実施報告書

第3次甲斐市総合計画及び総合戦略策定に向けて

～甲斐市の未来を考える～

【開催日時】　令和６年８月 19 日（月）　13：30～15：40
【開催場所】　甲斐市役所 新館２階　防災対策室
【参 加 者】　中学生６人、高校生３人、一般６人　合計 15 人

テーマ１：第１回・第２回ワークショップの振り返り

（第１回・２回で出た意見のうち特に重要だと思うものを考える）

＊第１回テーマ：甲斐市の強み・弱みを考える
＊第2回テーマ：現状から変化させたいもの、今のまま残したいものを考える

テーマ２：第３次甲斐市総合計画サブタイトル検討

Ⅰ グループ

テーマ１：第１回・第２回ワークショップの振り返り（特に重要だと思うもの）

第１回

強み

暮らしている人の雰囲気が良く、助け合いができる。
ショッピングモール・コンビニが多く、買い物等の利便性が良い。
自然が多い・山や川、空気が良い。

弱み

交通の便が悪い。
空き家や利用されていない土地がある。
SDGsの活動が少ない。
企業誘致をもっと多く。

第２回

増やしたい

情報バリアフリー化。
手話通訳者の設置。（生活全般の相談）
芸術文化・個性を共有する場。
医療施設の充実。
子育て世代への支援。
健康づくりへの支援。
安全対策。（防災に強い町づくり）
バリアフリーを意識した都市。
農林業への支援。（コンピューターとの融合・体験）

残したい

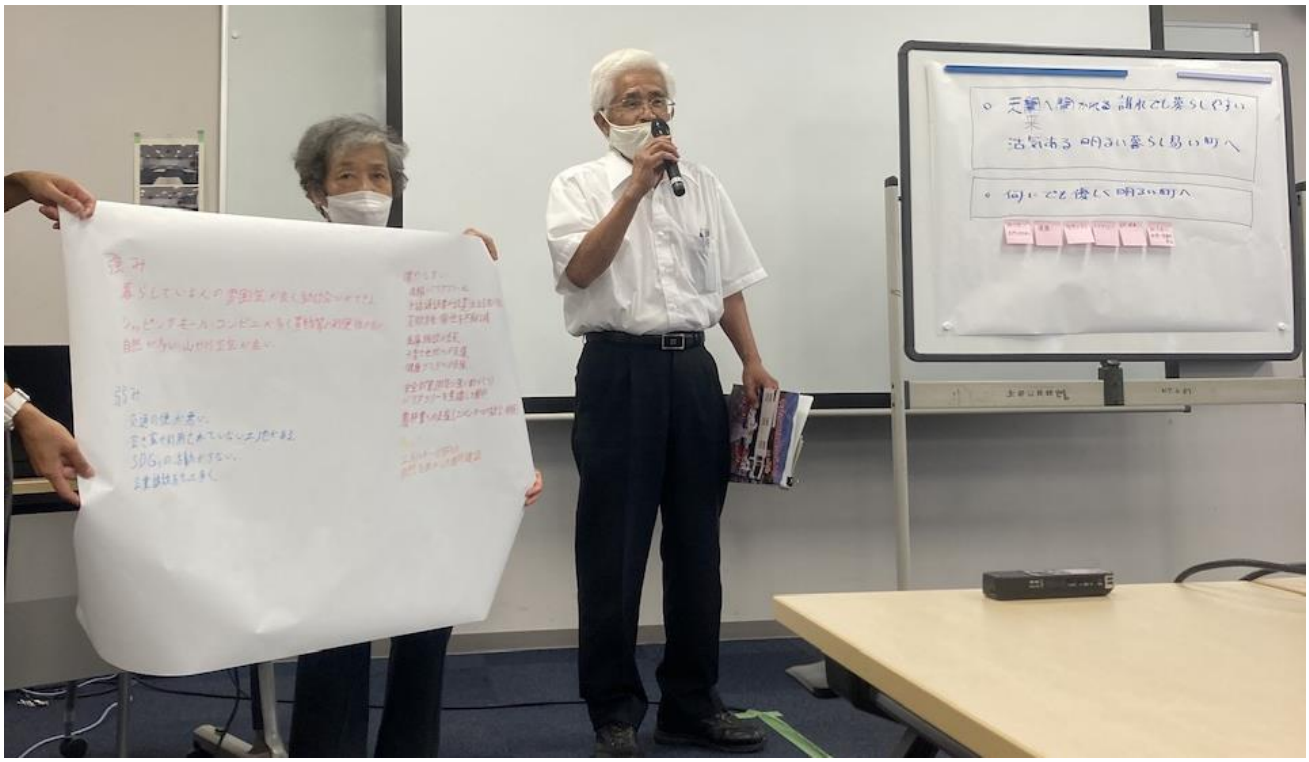
エネルギーの節約
自然を生かした都市建設

テーマ２：第３次甲斐市総合計画サブタイトル検討

未来へ開かれる誰でも暮らしやすい活気ある明るい暮らし易い町へ

何にでも優しく明るい町へ

<キーワード>
助け合い・近所付き合い・健康・活気がある・バリアフリー・自然・環境・助け合い・防災・情報を知る



＜発表＞

甲斐市には市民憲章があり、健康・経済・福祉にしても市民憲章に載っている。ぜひ市民憲章を読んでいただきたい。

サブタイトルは、「未来へ開かれる誰でも暮らしやすい活気ある明るい暮らし易い町へ」

「何にでも優しく明るい町へ」

詳しく述べると例えば助け合いとか、 健康、活気がある、バリアフリー、自然・環境、そういうものを含めて何にでも「優しく」という議論をしたところです。

２グループ

テーマ１：第１回・第２回ワークショップの振り返り（特に重要だと思うもの）

第１回

強み

地元の食材を使っていて給食がおいしい
タブレットやパソコンを使った学びで、より深く理解することができる
教育予算を増やして、色々な立場の職員を配置してくれる。
公園やスポーツ施設の新設が進み、市民に幅広く利用されている。

弱み

道やカーブミラーの整備
休耕田が増えている。

第２回

増やしたい

災害に強い環境をつくっていく。
防災への意識を高める。

弱み→減らしたいもの

18 才までの子供達の医療費完全無償化
空き家や古くて危ない建物や夜になると暗くなる道をなくす

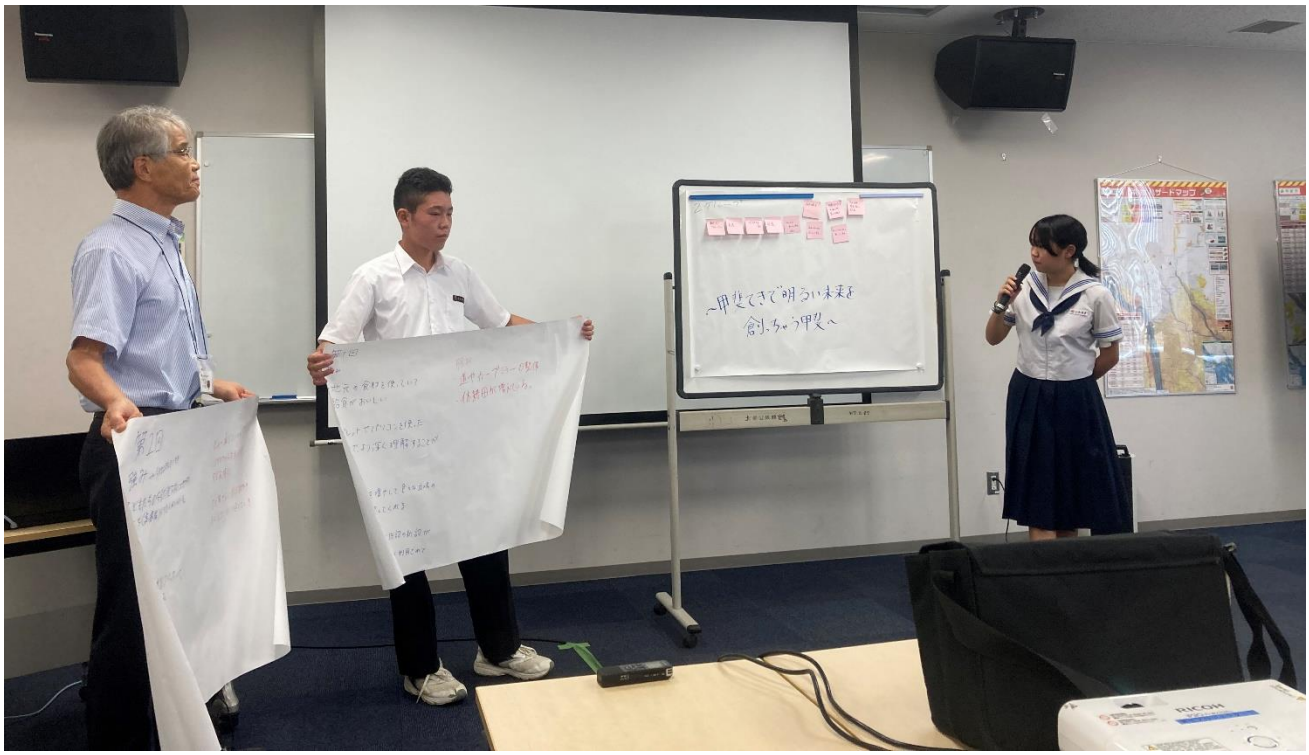
強み→今のまま残したいもの

子どもたちの安全な登下校に地域の人たち（高齢者）が力を入れてくれている。

テーマ２：第３次甲斐市総合計画サブタイトル検討

～甲斐てきで明るい未来を創っちゃう甲斐～

<キーワード>
新たなステージへ・前進・一人ひとりが・命運・みんなで創る・笑顔あふれる快適な町皆で目指す・明るい未来安全・安心創る
～明るい未来を創っちゃう甲斐～ ～快適で明るい未来を創っちゃう甲斐～



＜発表＞

強みでは、地元の食材を使った給食がとても美味しい、タブレットやパソコン等を使ったより深い学習がとてもいいと思う。

弱みとしては休耕田が増えていて、高齢化が進んで田畑が手を付けられていない状況があり、景観も悪くなるので弱みではないかと思う。

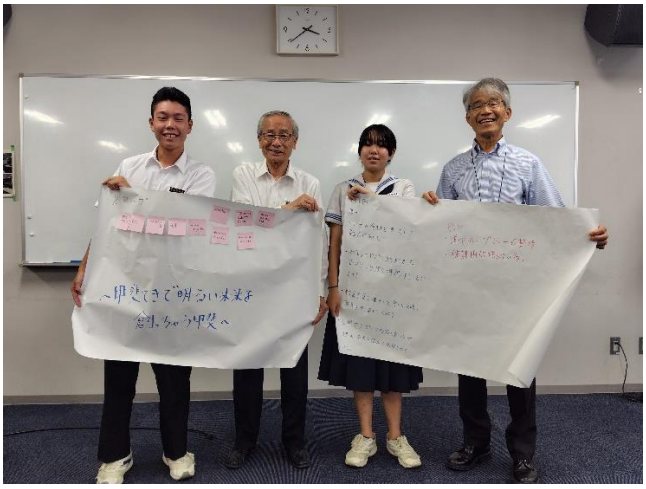
残したいもの、子どもたちの安全な登下校に地域の人たち、高齢者が力を入れてくれていること。特に双葉地域ではボランティアで地域の方が安全のための活動をしてくれている。

増やしたいところでは、災害に強い環境を作っていくということ。防災の意識をもっと高めていく。

減らしていきたいものは 18 歳までの子ども達への医療費、空き家や古くて危ない建物があるので減らしていってほしい。

サブタイトルは、「～甲斐てきで明るい未来を創っちゃう甲斐～」

3回のワークショップを通して出てきた甲斐市の弱みを強みに変え、甲斐市を快適で明るい未来にしたいと思ったからです。「甲斐」が2つかけられているのがポイントです。



3 グループ

テーマ１：第１回・第２回ワークショップの振り返り（特に重要だと思うもの）

第１回

強み

大型ショッピングモールがある
公園が身近
自然が豊か
子育て支援や医療費の無償化

弱み

若者や異世代が集う場所がない
山間部への交通手段が少ない
雨の日に遊ぶ場所がない
お店や施設が集中している
道路網の不備
山間部の人口減少

第２回

増やしたい

空き家などを用いたイベント、他県や異文化の交流により甲斐市への移住者を増やす
甲斐市の魅力を伝えるSNSの活性化
ファミリーサポートや子育て支援の強化（給食費の無償化など）
伝統文化の伝承、掘り起こし→大切にする
「かいのり」を活用した交通アクセスの促進

減らしたい

空き家の対策をする・空き家を減らす
野焼きによる火災

残したい

農業体験や後継者対策
健康に配慮したリサイクルやリユースの継続
食品ロスへの対策の継続
自然の豊かさ

テーマ２：第３次甲斐市総合計画サブタイトル検討

『KAI』てき　魅力てき　わ・た・してき

輝く　つながる　はばたく　甲斐市

緑とふれあい甲斐てきの街

<キーワード>
誰もが過ごしやすい・歴史と文化と豊かな文化都市・豊かな自然と文化薫る創造的都市・甲斐てきくらしやすい・だれもが支え合う町「甲斐市」・希望の花さく甲斐の町・みんなの自慢できるふるさとへ・輝く、つながる未来へはばたく・みんなが豊かな町づくり・住む『甲斐』がある町・人がふれある生活を豊かに想像する町づくり・緑とふれあいのまち甲斐市・環境人にやさしいまちづくり・みんなに知らせる甲斐市の魅力・「もしも」を考える輝く町・未来輝くみんなの「甲斐市」・会・快・改・皆・開

<発表>

強みは大型ショッピングモールがある、公園が身近、自然が豊か、子育て支援や医療費の無償化などです。

弱みは若者や次世代が集う場所がない、山間部への交通手段が少ない、雨の日に遊ぶ場所がない、お店や施設が集中している、道路網の不備、山間部の人口減少です。

増やしたいことは、空き家などを用いたイベント、他県や異文化の交流による甲斐市への移住者、甲斐市の魅力を伝える SNS の活性化、ファミリーサポートや子育て支援の強化、給食費の無償化、伝統文化の伝承・掘り起こし・大切にする、今までの歴史を DX 化、映像化して若い世代にわかりやすく伝えていく、SNS などを活用しアクセスしやすくする、現在の甲斐市の魅力・環境を発信していくことです。

また、ひとり親や、高齢者の方たちも快適に暮らしてもらえるようなサポートを強化し、かいのりを活用した交通アクセスの改善も必要。

減らしたいと思うところは、空き家対策により空き家を減らすこと、野焼きによる火災です。

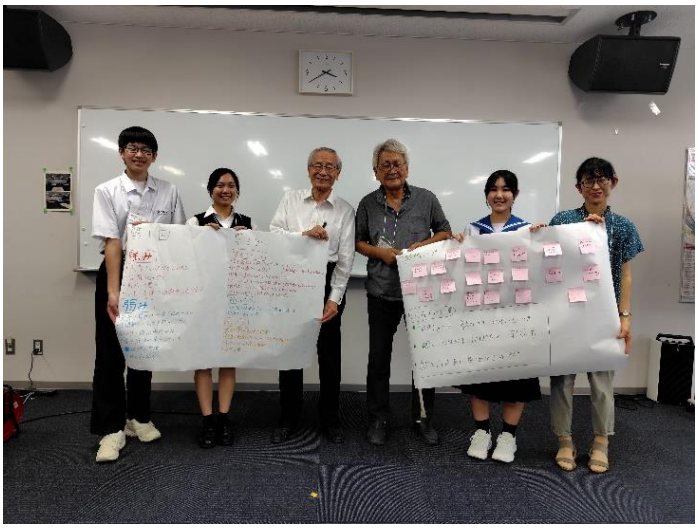
残したい部分は、農業体験や後継者対策、健康に配慮したリサイクルやリユースの継続、食品ロス対策の継続、自然の豊かさです。

サブタイトルは、誰もが過ごしやすく、住みがいのある街、希望、花咲く、環境にやさしい、みんなが自慢できるふるさとで、若い学生も上の世代も誰もがこれから 10 年先、わかりやすい言葉にしたいと思って、3つ考えました。

「輝く つながる はばたく 甲斐市」　未来を想像したようなワードになっています。

「緑とふれあい甲斐てきの街」　緑が豊かというのは誰もが思うことでした。人とのふれあいというところです。

「『KAI』てき 魅力てき わ・た・してき」　一番の推しです。自分の推したい魅力ある甲斐市はそれぞれが持っていることなので、あなたはどうですかっていうことを問うています。『KAI』てきの中には甲斐市の『甲斐』がいくつも入っています。みんなが会うの「会」、「快」い、「改」める、「皆」、「開」かれる、色々な「かい」です。



4 グループ

テーマ１：第１回・第２回ワークショップの振り返り（特に重要だと思うもの）

第１回

強み

学校教育
スポーツ文化活動
防災訓練を行っている
自然が豊か
交通整備されている

弱み

アクセスが悪い
働く場所が少ない
楽しめる施設が少ない
シニア世代のバスの代金を無料

第２回

増やしたい

今よりタブレット、パソコンを使った学習
夜の暗い道に街灯
リサイクル活動を増やす
自転車教育
地域社会での子供・子育ての充実

減らしたい

無駄なエネルギーの消費
空き家、手つかずの田畑

残したいもの

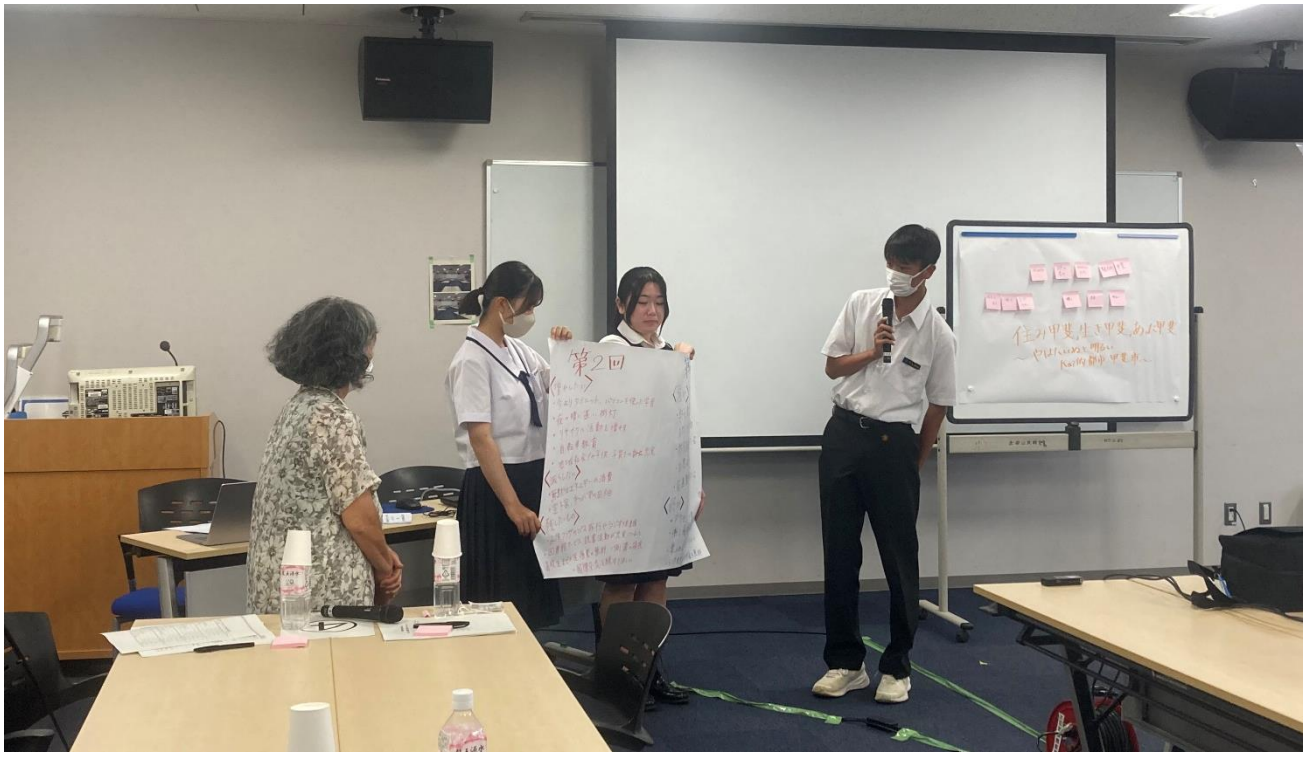
子供クラブのバス旅行やラジオ体操
図書館サービス、読書活動が充実していること
高校生までの医療費の無料
側溝の掃除
国際交流を続けてほしい

テーマ２：第３次甲斐市総合計画サブタイトル検討

住み甲斐、生き甲斐、あった甲斐

～やはたいぬと明るい Kai 的都市　甲斐市～

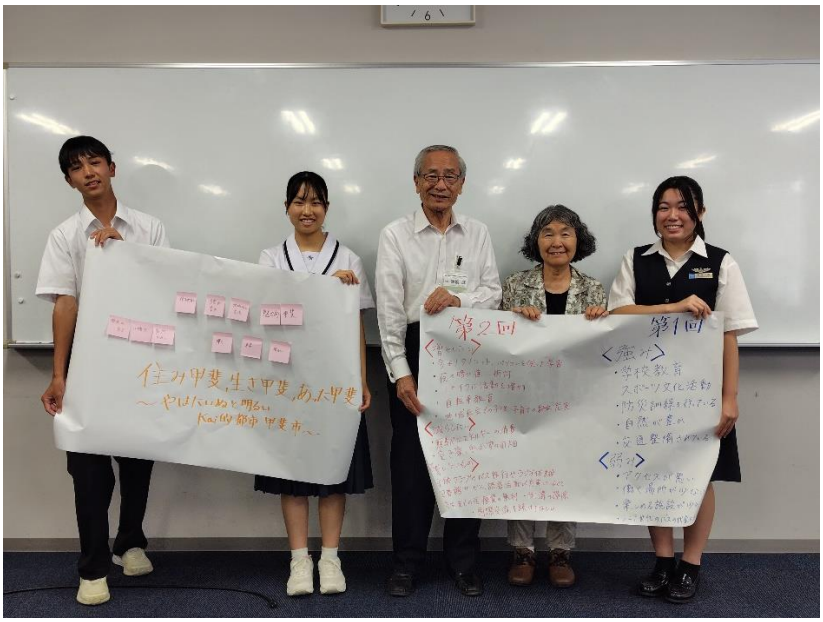
<キーワード>
歴史がある・やはたいぬ・景色きれい・住みやすい・自然が豊か・地域の人と交流・魅力的・甲斐・輝く・未来・明るい



<発表>

強みは学校教育、スポーツ文化活動、防災訓練を行っている、自然が豊か、交通整備がされているなどで、弱みはアクセスが悪い、働く場所が少ない、楽しめる施設が少ない、シニア世代のバスの代金を無料にしたいという意見がでました。

増やしたい分野として、タブレット・パソコンを使った学習、夜の暗い道の街灯、リサイクル活動、自転車教育、地域社会での子育ての充実。減らしたいことでは、無駄なエネルギー消費、空き家、手つかずの田畑。

残したいものでは子どもクラブのバス旅行やラジオ体操、図書館サービス、読書活動が充実していること、高校生までの医療費の無料、側溝の掃除、国際交流を続けてほしいなどの意見がでました。

様々なキーワードのなかで、「住み甲斐、生き甲斐、あった甲斐～やはたいぬと明るい Kai 的都市 甲斐市～」をサブタイトル案としました。